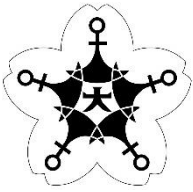


学校教育目標「一人ひとりが生き生きと輝き、知・徳・体の調和のとれた自立した子の育成」



大積小だより

愛・アイデア・アクション!

令和7年5月16日

第7号

北九州市立大積小学校

校長 古澤 律子

電話 341-8296

北九州市と世界の架け橋になる子どもたちを育てる「北九州市型外国語教育」

北九州市では、今年度4月より「北九州市型英語教育」をスタートしました。小学校1年生のうちから外国語に触れる機会をつくり、また、積極的に外国語を使ったコミュニケーションに挑戦しながら小・中学校9年間を通して外国語を学ぶことで、北九州市と世界の架け橋となる人材を育成することを目指しています。

大積小学校では、以下のように指導してまいります。

【1・2年生】英語大好きタイム

1年生は9月から、2年生は7月から、1時間目の前に朝の15分間を活用して、歌や絵本を使って外国語に触れる体験を行います。

(1年生は15分×21回、2年生は15分×24回実施する予定です。)

【3・4年生】ファンタイム

複数単元内容を組み合わせて、ごっこ遊びなど、学んだ英語を使って楽しむ活動を行います。外国語活動の時間に、通常のカリキュラムに加えて実施します。

【5・6年生】パフォーマンスタイム

複数単元の言語活動を通して、学んだ英語を使い ALT(外国語指導助手)と1対1の会話に挑戦します。自分の考えや気持ちを表現する活動を外国語科の時間に実施します。

大積小学校では、今年度レイ先生が ALT として学習に参加して下さいます。子どもたちが大好きな先生ですので、より子どもたちのコミュニケーションの力が高まるのではと、期待しています。

Hello!



大積小学校 スクールプラン②

子どもの心の育ち「居場所づくり」に関すること

目標: 互いのよさを認め合い、より良い自分を目指す子どもの育成

指標:【学校生活アンケート】

◆「先生や友達はあるあなたのよいところを認めてくれていると思う。」について肯定的な回答をした児童の割合
<90%以上>

- ・「夢授業」「保育士体験」をはじめとしたキャリア教育を推進します。
- ・児童の所属感を高める特別活動を充実し、自己肯定感を高めます。

◆「特別支援を要する児童をはじめとした全ての子どもの所属感を高める工夫をした。」について肯定的な回答をした教職員の割合
<80%以上>

- ・互いのよさを認め、伝え合う活動(帰りの会、今月の愛・アイデア・アクション等)を行います。
- ・不登校傾向、特別支援を要する児童の学習環境を整えます。





読み聞かせが始まりました。「すみれ」のみなさん、ありがとうございます

今年度より、読み聞かせが始まりました。以前、大積小学校では、読み聞かせを行っていたようですが、コロナ禍の影響もあり、ここ何年間かは行っていませんでした。地域の有志の方から、お声かけいただいたのがきっかけで、1・2・3年生に対して、月に一回程度読み聞かせをしていただけるようになりました。原則第一水曜日の朝(8:35～8:50)に行います。本を読むのがちょっと苦手な児童も読み聞かせは大好きです。読書推進の一貫として、期待しています。読み聞かせボランティア「すみれ」の皆様、どうぞよろしくお願いします。



図書室 常時開館始まる

今年度の重点目標の一つは、「読書推進」です。ブックヘルパーを6名の保護者の方が引き受けてくださったおかげで、今年度は、常時開館が叶いそうです。心より感謝申し上げます。

常時開館とは、図書の時間だけでなく、昼休みにいつでも図書室に行って、本を読んだり、貸し出しや返却をしたりできるようになることです。5・6年生の図書委員会の児童にも活躍してもらう予定です。本に親しむ機会が増えることで、読書が好きな子どもが増えることを願っています。

また、毎週火曜日には、図書館司書の方が来校し、本の整理、子どもたちへの読み聞かせなどを行ってくださいます。



4年生 社会科見学

5月9日、4年生が、井手浦浄水場と新門司環境センターの見学に行きました。社会科「健康な暮らしとまちづくり」ごみはどこへ、水はどこからの学習について、実地で見学しながら学びを深めていきました。水が浄化される仕組みなどを教えていただきました。

